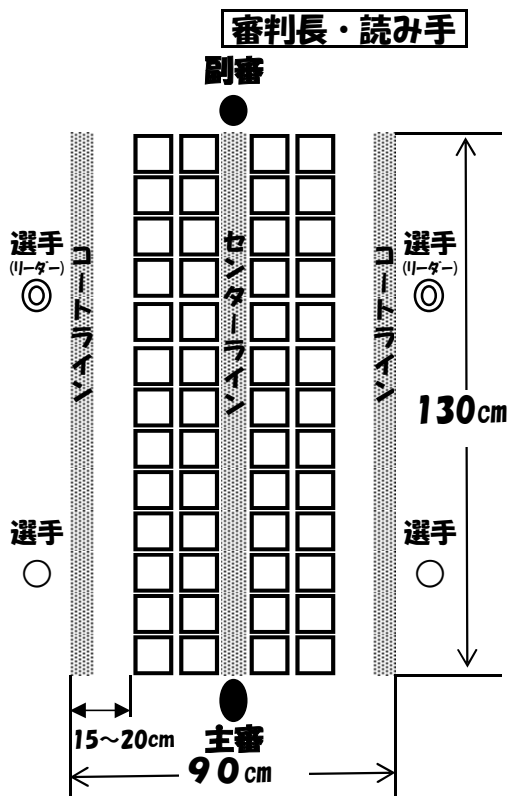


土浦郷土かるた 中央大会競技規則

競技位置図



1. 競技方法

チームは2人1組編成、競技は1組対1組で勝負します。勝敗は、取った札の数により決まります。

予選は、リーグ戦とし、決勝は、各リーグの1位の組が、トーナメント方式により競技します。なお、大会長が認めた場合にはこの限りではない。

2. 競技準備

- (1) 競技位置図参照（札の並べ方、対向4列）
- (2) 主審が、絵札をよく切って26枚ずつ2つに分けて、取り手の前へ伏せて置きます。
- (3) 組のリーダー同士でジャンケンをし、勝った組の人が先にどちらかの絵札を取って、自分たちの前に（位置図参照）2列に並べます。負けた組の人も、同じように自分たちの前に絵札を並べます。
- (4) 競技が始まるまでは、正座して静かに待ちます。
- (5) リーダーは、読み手側に座ります。

3. 競技開始

- (1) 読み手が空札を2回読みます。読み終わるまで、両手はひざの上に置いて待ちます。次に読まれた札から、競技が始まります。
- (2) 札を取るときは片手だけを使って、押さえるか、はじくかします。もう片方の手はついてはならない。ただし、取った後に体を支えるためについた手は違反とはならない。
- (3) 競技中、一度並べた札は、動かさないこと。（動いた札は元に戻す）
- (4) 同じ札に2~3人の手がついた場合、一番先の人を取る。
- (5) 札を取るとき、対戦者双方の優劣の判断が難しいときは、「審判預かり」とする。
- (6) 読み札でないものを付いた場合は「お手付き」となり、付いた札を相手側に渡します。（2人で付いても渡す札は1枚です。）味方の札のどれかを相手側に渡す。
 - ①味方の札を「お手付き」した場合 → 付いたその札を相手側に渡す。
 - ②相手側の札を「お手付き」した場合 → 味方の札のどれかを相手側に渡す。
 - ③双方の選手が、同時に同じ札を「お手付き」した場合は、双方が①・②の例に従ってそれぞれの札を相手側に渡す。
 - ④味方の2人の選手が、1人は正しい札を取り、もう1人は「お手付き」をした場合は、取った札は「無効札」となり、「審判預かり」とする。「お手付き」の罰則は、①・②の例に従って行う。相手側は、その札を自分の取りやすい所に並べる。
 - ⑤「お手付き」をして、相手側に渡す札がないとき、お手付きをした組は、次の読み札を1回休み。
 - ⑥リーダー対決の時、空札を読み上げ中に札に触ってしまった場合は、相手側の札になる。
- (7) 取り札が残り2枚になったら、リーダーのセンターライン上に30cm離して横に並べ、組のリーダーが代表して勝負します。このうち、1枚を取った時点で競技終了とします。残った1枚は「審判預かり」とする。

コートラインの扱いについて

- ①コートラインを踏んで札を取った場合は無効札となり、審判預かりとなります。
- ②選手がコートラインの内側で先に手をつけて札を取った場合、その札は無効札となります。

4. 競技終了

- リーダーは味方の取った札を数え、審判に報告します。
リーダーが数えているときは、他の選手は静かに待つようにします。

5. 勝 敗

- (1) 勝敗は、各取り札1枚を1点とし、点数の多い方が勝ちとなる。
- (2) 同点の場合は、役札の「つ」を取ったチームの勝ちとする。
- (3) 役札が「審判預かり」となっている場合は、リーダー同士による1回勝負のジャンケンによって決める。
- (4) 相手が棄権をした場合
26対0で、役札を取ったものとして「不戦勝」とする。

平成14年2月制定 平成18年12月・平成21年11月・平成23年12月 一部改正
平成25年12月 一部改正 令和6年12月 一部改正

注 意 事 項

- (1) 競技者(選手)は、事前に「爪」をきれいに切っておく。
- (2) 競技開始までは選手は正座をし、静かに待つ。
- (3) 競技初めに、審判長の指示に従って、「お願いします」終わりに「ありがとうございました」のあいさつをする。
- (4) 主審は、札を切るときは、伏せて切ること。
- (5) コート内に勝手に入ったり、歩き回ったりしないこと。
- (6) 次の競技をする選手は、審判長の指定した待機場所で待つこと。
- (7) 審判への抗議は、一切受け付けない。

☆ 読み札の注意

- (1) 次の2枚の札を「を」「ん」は、文中にあります。読み札をよく聞いて取ってください。

「みんなをむかえる うららビル」は「を」を強調して読む。
「湖畔(こはん)を風切る 霞ヶ浦マラソン」は「ん」を強調して読む。

- (2) 次の6枚の札は、2枚ずつあります。読み札をよく聞いて取ってください。

「さわやかに 秋風うけて わかさぎ漁」
「山王様(さんのうさま)の 古式豊かな やぶさめの祭り」

「たくましく 風車が回る 水郷公園」
「田宮(たみや)ぼやし 楽しくおどって おほらいだ」

「天井(てんじょう)の 板絵古し 愛宕さん」
「伝統(でんとう)を 受け継ぐまつり からかさ万灯」

「西門(にしもん)に 文武の館 郁文館」
「にいほりの 歴史がいっぱい 武者塚古墳」

「福祉(ふくし)に 力を入れる 土浦市」
「ふるさとの かおりただよう 小町の里」

「ほたるとぶ 乙戸の里に ぴかぴかと」
「法雲寺(ほううんじ) 六百七十年の 歴史あり」